

**1 学校教育目標****(1) 教育方針**

全ての人の幸福のために、倫理的に正しく、規律ある判断力をもって責任ある行動がとれる人間の育成を目指す。

**(2) 教育スローガン**

人吉球磨の発展に貢献し、郷土を「支え」「誇り」「愛し」続ける人づくり

**(3) 目指す学校像**

命を大切にすると心と人権尊重の精神を育む学校

～明るく、楽しく、あたたかな学校づくり～

ア 生徒の進路目標を 100% 実現する学校

イ 生徒の危機回避能力や判断力を育成する学校

ウ 地域と課題を共有し、その解決のために地域とともに取り組む学校

**(4) 目指す生徒像**

自他の命を大切にし、相手の気持ちが理解できる生徒

ア 目標達成のために地道に努力し、自分の未来を自分の意志で切り拓く生徒

イ 好奇心や疑問を持ち、自分の行(考)動に工夫・改善を求める生徒

ウ 地域の文化や歴史、自然を大切にし、社会に貢献する生徒

**(5) 目指す教職員像**

教育的愛情と人権感覚を持ち、生徒に寄り添い、支援できる教職員

ア 課題を自分事として捉え、周囲と協働し、組織的に行動できる教職員

イ 正しい批判力を持ち、常に授業・業務改善に取り組む教職員

ウ 教養と品格を持ち、人としての在り方を生徒に示す教職員

**2 本年度の重点目標****(1) 明るく、楽しく、あたたかな学校生活の実現**

ア 人権教育の充実

いじめを絶対に許さないという姿勢を徹底し、品格ある言語環境を構築し、すべての教育活動において、人権感覚の高揚に努める。

イ 教育相談体制の充実

全ての教育活動を通して生徒の現況把握に努め、生徒理解と心の教育の充実を図る。

教職員間の情報共有を図り、いじめの早期発見や対応、特別な配慮を要する生徒への対応などを適切に行うとともに、生徒が SOS を発信しやすい環境をつくる。

ウ 授業力向上、個に応じた学習指導と進路指導の推進

生徒が自ら課題や疑問を発見し、思考し、最適解を発見する探究型授業を積極的に実践するとともに、常に指導と評価の一体化についての研究を深める。

個別の添削や面接指導等により個々の進路目標に応じたきめ細かな指導を行い、すべての生徒の進路目標の達成を図る。

生徒が主体的に自らの将来について考えことができるよう、学校外での学びや活動の場を積極的に設けるなど、本校におけるキャリア教育の充実を図る。

エ 基本的な生活習慣の確立

心をこめた挨拶、自主的な掃除、時間厳守など、「当たり前のことを、当たり前。」を実践し、感謝と協働の心にあふれる学校を目指す。

規則正しい食事、十分な睡眠や適切な運動など健康管理の徹底を進めるとともに、検診後の未受診者数を減らすなど、健やかな体と豊かな心を育てる。

オ 道徳教育

すべての教育活動をとらえて、自分にとって、周りの人にとって、地域にとって、社会にとって何が一番幸せなのかを常に考え、判断し、行動する力を育成する。

教職員同士、相手の存在を敬い、助け合い、協力しながら仕事を遂行する。

**(2) 安心・安全、健康的な学校生活の実現**

ア 交通ルールと交通マナー遵守の徹底

スマートフォンなどを見ながら自転車を運転したり歩行したりする、左右をよく確認せずに道路を横断する、信号を無視するなどの、大きな事故につながる行動を絶対にさせない。また、命を守るため、ヘルメットの着用を推進する。

イ 情報モラル教育の推進

被害者にも加害者にもならないように、個人情報や写真、迷惑行為の画像等をネット上に掲載したり、他者を誹謗中傷したりすることがないように、すべての教育活動をととして情報リテラシーを育成する。

ウ 防災教育の充実

防災主任を中心に、全職員が協力して、地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育及び避難訓練等に取り組む。また、家庭、地域、行政機関等との連携・協働による防災体制の整備に取り組む。

エ 危機管理体制の一層の構築

事故や重大事態が発生した時に迅速かつ適切に対応するため、危機管理マニュアルの共通理解を徹底する。

(3) 未来を創造する人材の育成～特別活動や生徒会活動などを通じた人格形成～

ア 部活動や委員会活動などへ積極的に参加するよう促し、教育活動全般をととして自主性と創造性を育む。

イ ボランティア活動等をととして、自ら考え、行動する生徒を育成するとともに、利他の心を育む。

(4) 地域を創造する人材の育成～保護者・地域との連携～

ア 錦町や育友会、同窓会等との連携を大切に、地域社会に本校の教育活動についての理解を深めてもらえるよう努めるとともに、地域社会の発展に貢献する。

イ 保護者との面談や家庭訪問を計画的に行い、家庭と学校の連携を密にするとともに、地域社会や小・中学校との連携を図る。

3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	業務改善・働き方改革	・チームとしての連携や情報共有が図られているか。 ・チームとしての業務推進により校務運営の改善がなされているか	会議や風通しのよい組織づくりをととして、職員が協力しあう気持ちやチームとしての一体感を醸成し、情報共有と業務の推進を図る。	職員研修の実施や日頃のコミュニケーションを重視し、個々の職員が互いを理解し、尊重することで、チームとして相乗効果を発揮する。	B	・職員研修では、対話型の研修を取り入れ、職員間の相互理解や尊重を深めることに取り組むことができた。 ・ICT機器活用による会議等のペーパーレス化を推進し、業務の効率化を図ることができた。
	授業改善と授業力アップ	・わかる授業の展開がなされているか。	GIGAスクールに対応するため、教師のICTスキルを上げ、授業展開及び授業改善に活用する。	ICTの効果的な活用法等について、教師向けに様々な情報を提供し、授業への活用を促す。	A	ICT機器を活用した授業を実施し、生徒の関心を引き出すことができた。定期的に教育アプリの職員研修等も実施した。授業改善を促し、指導と評価の一体化、形成的評価を達成する。
	進路保障の充実と募集定員の確保	・キャリア教育を行うことにより、進路保障が図られ、入学希望者の増加に繋がったか。 ・本校の特色ある取組みが魅力発信に繋がっているか。	・4年制大学への進学者20名以上、県内企業への就職5割以上を目標とする。 ・進路の確実な保障により入学希望者が定員の8割以	・進路ガイダンスの充実を図ったり、進路指導部との2者面談を実施したりする。 ・学科の特色を活かした進路決定につい	B	・4年生大学進学者が14名、県内企業へ就職する就職者が5割を上回った。しかし、割合は昨年度より減少している。 ・本校の前期(特色)選抜の倍率が0.82(前年度0.01増)である。

			上となるようにする。	て、中学校関係者や地域に広く情報発信する。		
	豪雨災害からの復旧、復興活動の推進	・ 錦町をはじめとする行政機関等との連携が図られているか。 ・ 復旧、復興活動に関わることで、生徒の変容は見られるか。	・ 復旧・復興活動を通して地域への理解を深め郷土愛を育む。	・ 地域が主催する復興イベントに生徒が参加するように促進する。	B	・ 本校と錦町、そして市房食堂が共同開発した商品がふるさと納税の返礼品に採択される等、行政機関との連携を図ることができた。また、人吉スカイランタンフェスティバル等の復興イベントにも、ボランティアとして多くの生徒が参加した。 ・ 復興のために本校ができることをさらに積極的に行う体制を作りたい。
学力向上	授業改善と授業力アップ (授業デザインと授業評価)	・ 生徒が意欲的に授業に取り組めるよう、分かる授業が展開されているか。	毎学期、授業評価アンケートを実施し、「先生の説明は分かりやすい」の全体の割合について60%以上にする。	授業評価は生徒の成績算出だけではなく、生徒の学びに向かう姿勢の育成や教師の授業改善を目的に行う。考査の時だけでは無く、毎授業に評価のポイントを作る等、授業デザインを促す。	B	授業評価アンケートでは、「先生の説明は分かりやすい」の評価は4点満点中、平均3.78点であった。科目によっては苦手意識を持つ生徒もあり、個別最適な学びの実現のため、生徒の学ぶ意欲を向上させる形成的評価を取り入れた授業改善を促していきたい。
	言語活動の充実	・ 朝の10分間読書による読書活動の充実が図られているか。 ・ 「球磨地域学」等の学習活動を通して、自らの考えを整理し表現する等の活動が充実しているか。	読書週間を設け、日常生活での読書活動を活発にさせる。 球磨地域学では、地域活性化策等について、生徒のアイデアを創出する。	魅力ある図書コーナー等の生徒図書委員の活動を推進する。 自治体や地元企業等から外部講師を招聘し、地域資源について学び地域活性化策等を探究する授業を展開する。	B	・ 推薦図書を載せたライブラリーニュースや新着図書紹介、季節ごとの図書イベント等で読書意欲を喚起した。 ・ 人吉球磨地域10市町村の地域資源や活性化策等について学習し、生徒は地域の課題解決について深く考察するようになった。 ・ 図書館を活用した授業もあり、英語コミュニケーションの授業では、ディベートを実践するなど、図書と授業のつながりを持つことができた。
キャリア教育 (進路指導)	卒業後のあるべき姿を見据えた進路指導の確立	・ 学校行事や学年の取り組みを通して進路意識が向上しているか。 ・ 3年間を見据えた計画の立案がきちんとできているか。	・ 生徒一人一人の適性を見極め、それぞれの生徒の希望と適性に合う適切な進路を保障していく。	・ 入学初期の段階で「適職興味検査」を実施し、職業観を身につけた上で活動の場を設ける。また、就職・	B	・ 自己の興味や適性を理解した上で、合同企業説明会の参加や企業見学バスツアーなどの活動の場を設け、新たに計画、実施することができた。

			・3年間の進路計画を毎年振り返り、改善につなげる。	進学とともに最新の情報の収集・分析に努め、各学年・分掌と情報を共有する。 ・各取組について各学年や分掌から意見を集約し、次年度に向けて各取組を改善・進化させていく。		・生徒、保護者、職員に対して進路情報を提供し、個人面談やガイダンスを充実させることができたが、連絡や掲示だけに留まることがないように具体的な活用法を示す必要がある。また、県外就職者の多くが就業場所を福岡に選んでおり、安易な進路選択になっていないか注視する必要がある。
	資格取得への意識向上と取組の充実	・授業やタ課外等を通して、資格取得への意識の高揚を図ることができたか。	各検定において合格率10%アップ（昨年度比）を目標とし、取得した資格を活かした進路を実現する。	学年部や部活動顧問と連携をとりながら、各検定前1週間は放課後学習会を行う。	B	・放課後学習会の成果もあり、簿記関連資格の本校初の合格者輩出をはじめ、合格者数増を達成することができ、進路実現の一助となった。
生徒指導	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。周囲と協働する力の育成	・①挨拶、返事、言葉遣い②正装③掃除④勉強⑤運動⑥学校行事等の充実が図られているか。	・健全で自立的な態度、道徳的な心情、判断力の向上を図り、生徒自らが考え、主体的に行動できる能力を育成する。	・基本的な生活習慣の確立、交通事故・違反防止、委員会活動等の促進、部活動や課外活動の奨励を通して、自ら考えさせる。特に日々の練習等、部活動へ取り組む意識を高めさせる。	A	・大きな交通事故もなく、特別な指導も0件であった。 ・月1回部活動報告書の提出により、部活動の活性化を図った。リーダー研修を行うことにより、部活動の在り方について自ら考えることができるようになった。
	安全教育を推進し情報モラルの向上	・①安全教育の推進、②情報モラル教育の充実が図られているか。	・社会を形成するべき一員として、行動力・生活力・実践力を身に付けさせる。未然防止に努める。	・日々の生活指導、担任面談、SNSのマナー教育等を充実させ、家庭との連携を強化、未然防止にあたる。	B	・情報モラル教育については、ライン財団よりリモート授業を実施、指導を行った。職員間の情報の共有や地域・保護者との連携強化を図る必要がある。
人権教育の推進	基本的人権を正しく理解し、自他を尊重する生徒の育成	・人権教育の理念が行き渡り、積極的な取り組みが行われているか。 ・生徒へ細心の注意を払い、人権教育に対する指導や対応ができているか。	・他の人の立場に立ち、その人に必要なことや考えや気持ちが分かるような創造力と共感的に理解する力を身につける。	・生徒安心委員会による心のきずな月間の放送を行う。 ・人権標語を生徒安心委員会で作る。 ・生活安心委員会で学期一回のあいさつ運動を行う。	B	・生徒安心委員会の放送により、自他の人権を正しく理解し相互に尊重しあうことを学んだ。 ・人権標語の作成については未実施だった。生徒の意識高揚のためにも、来年度は実施したい。 ・今年度の生徒安心委員会による挨拶運動は未実施だった。来年度はぜひ行いたい。

	命を大切に する心を 育む指 導	・ 自他の命を大切に する心を育む取 組ができているか ・ 教育相談体制は 充実しているか	・ 自他の命に ついて考える 機会を設け、 自他共に大切に する心を育 てる。 ・ 生徒が相談 しやすい雰 囲気作りを行う 。	・ 職員研修の 充実。 ・ 人権教育 L HR、いじめに 関する実態調 査（心のアンケ ート）、外部テ スト等の活用。 ・ 人権教育推 進委員会と連 携を図り、個々 の支援計画を 作成する。 ・ SC・SSW の専 門機関と連携 しながら教育 相談体制を更 に充実させる。	A	・ 職員研修を計 1 回 行い、教職員の人権 意識を深めることが できた。 ・ 学期に 1 回の人権 LHR、いじめアンケ ートを実施した。ま た、心理テスト等の 外部調査を実施し、 生徒指導や支援のた めの情報共有ができた。 ・ 担任が特別支援教 育コーディネーター と連携し、個々の支 援計画を作成した。 ・ SC との連携により、 いじめや不登校の早 期対応を行うことが できた。 ・ 課題は、様々な特性 を持つ生徒が楽しく 学校生活を送る仕組 みを作る取り組みを 行うことである。
いじめ の防止 等	いじめの 未然防止 と早期発 見	・ 年 3 回（学期に 1 回）アンケート を実施し、その結 果に基づき、迅速 かつ適切な対応が 行われているか。 ・ 全ての教育活動 を通して、生徒理 解と実態把握に努 めているか。	・ 心の通じ合 う、望ましい コミュニケーション能力を 育み、規律正 しい態度で参 加・活躍でき るような授業 や集団づくり を行う。 ・ 一人ひとりの 持つ悩みや 困難の解決を 援助すること によって、成 長の援助を図 る。	・ いじめを防 止する重要性 等について保 護者を含めた 関係者への啓 発活動の推進。 ・ 面談やアン ケート、教育相 談の充実を図 り、相談しやす い環境を整え る。 ・ 管理職・いじ め情報集約担 当者を中心と して、常に情報 共有を図る。	B	・ アンケートの実施 時間を多く設ける ことにより、担任と学 年主任、そして担当 者との情報共有をス ムーズに行うことが できた。必要に応じ てアンケートの情報 を提供することが今 後の課題である。 ・ 全学年、各学期に 1 回ずつ心のアンケ ートを実施すること で、いじめ等の早期 発見、未然防止に役 立った。 ・ アンケート結果で いじめを受けたと答 えた生徒や気になる 生徒への聞き取り、対 応の検討等を組織で 取り組むことができた。
地域連 携（コミュ ニティ・ス クール など）	学校運営 協議会（ コミュニ ティス クール）と 学校運営 との連動	・ 学校運営協議会 （コミュニティス クール）との協議内 容が学校運営に生 かされているか。	・ 地域に根ざ し、地域社会か ら信頼される 学校づくりに 取り組む。 ・ 防災意識の 高揚を図る ・ 危機管理態 勢を整備する。	・ 学校運営協 議会において 地域と連携し た協働体制と 防災体制を整 備する。 ・ 避難訓練やシ ェイクアウト訓練 の充実を図る。	B	・ 学校運営協議会に おいて、学校の防災体 制を確認することが できた。 ・ 生徒に対する事前 の通知がない実践的 な避難訓練を実施す ることができた。来年 度も有意義な避難訓 練を実施したい。
	地域との 連携	・ 地域の行政機関 や学校関係者及び 保護者との連携協 力が図られている か。	・ 郷土への愛 着と誇りを持 つ生徒を育成 する。目的意識 を持って取り	・ インター ンシップや百貨 店等の学校行 事、また地域の イベントやボ	B	・ インターンシップ と球磨中央百貨店を 開催し、地域の方々 との交流ができた。ま た、錦町サンロードシ

			組ませること で成長を促す。	ランティア活 動等への積極 的参加を図る。		ティでの販売実習や、 錦町物産館主催の祭 りの販売実習ボラン ティア活動に多数の 生徒が積極的に参加 した。 ・今後、さらに多くの イベントに本校生徒 が参加し、学校PR等 を推進させたい。
健康教 育と環 境整備	健康管理 に対する 意識の高 揚と望ま しい学習 環境づく り	・健康観察及び健 康指導の徹底及び 室内・外の環境が 整備されているか 。	健康管理・健 康教育に対す る意識の向上 を図り、ゴミ の分別を実践 し、定期的に 美化コンク ールを行い、主 体的な実行力 を身につけさ せる。	・毎日の健康 観察の実施。 ・健康の保持 増進を意識し た保健指導を 行う。 ・保健委員会 の活動として 、毎月保健便 りの発行と毎 朝の健康観察 を実施する。 ・学期ごと美 化コンクール を実施する。 ・学校版環境 ISO宣言・学期 ごとの安全点 検を実施する。	B	・生徒保健委員会の 活動として、毎朝健 康観察を実施し、欠 席者の把握が確実に できた。保健日より は毎月発行し、後半 はCanvaの講習 会を行い、視覚に訴 える紙面づくりを行 った。・来室者に毎 回保健指導をした。 ・美化コンクールの 点検項目を変えて、 安全管理部職員とと もに実施した。満点 のクラスが増加した 。ISO宣言は廊下に提 示し安全点検も毎学 期実施した。

<p>4 学校関係者評価</p> <p>【学校運営協議会（総合型）について】</p> <p><u>11月25日（月）第1回学校運営協議会</u></p> <p>令和6年度のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー、本校の教育目標、生徒募集に向 けた取組、教育活動の概要、学校経営方針等についての概要説明、学校評価計画案の提示、学校 防災計画についての説明を行い、御意見をいただいた。</p> <p><u>2月20日（木）第2回学校運営協議会</u></p> <p>令和6年度学校評価表、学校評価アンケート結果、防災教育活動、本校の教育活動の現況や取 組状況等について報告を行い、意見を集約した。</p> <p>【各委員からの評価】</p> <p>◎<u>第1回学校運営協議会での意見等</u></p> <p>●生徒の商品開発について私達の業界でも力になればと思う。</p> <p>●生徒たちの元気の良い挨拶が素晴らしい。</p> <p>●「信用」を生徒に教えること 信用は金では買えない。</p> <p>●学校を卒業したら成人である。ある程度の知識や対応力を持っておかなければならない。 お金・保険・勧誘の対応・選挙について教育を。</p> <p>●闇バイト、スマホの危険性について、もし起こしたとしてもすぐに警察に行くなどの指導 をしてほしい</p> <p>●サイバー、機密情報、ICTの防犯的な観点から授業を実施してほしい</p> <p>●防災の公開授業はどのようなものをしたのか。→公開授業として全授業で実施。</p> <p>●球磨中央百貨店 生徒がもてなすという意識がある。率先して挨拶してくれる。百貨店を 伝統的に継続してほしい。高校時代に接客を学ぶ学校は他にはない。</p> <p>◎<u>第2回学校運営協議会での意見等</u></p> <p>●自分が学生時代と状況が変わってきました。生徒が学校に対して満足しているのであれば 、保護者の意見を気にする必要があるのでしょうか。</p> <p>●自転車ヘルメットの着用が義務化されるが、学校ではどのような取り組みを行っていますか。 （回答）4月から全面実施できるように、準備しています。</p> <p>●働き方改革に関して、高校では何か業務改革をやっていますか。 （回答）職員朝会の回数、さらに会議の回数も減らしています。職員には勤務時間を意識し てもらい、働きすぎの先生は、勤務時間の削減を、自己評価の目標にしてもらう等の取り組 みを行っています。</p> <p>●生徒の進路状況に関して、進学、就職の割合を教えてください。 （回答）進学6割、就職4割です。地元に残る生徒は、10名程度です。</p>
--

●錦町商工会の仕事をしているが、イベントで書道部の参加や美術部の作品展示の依頼等をしてよいのでしょうか。できれば、生徒さんの発表の場を協力したいと思っています。

●就職先を選ぶときに、求人票で総支給額を見て決める生徒が多いが、税金やその他の控除も考慮入れてほしい。地元に残ったほうが生徒には有利ではないか。

●個人的に地元に残ってほしいという気持ちが強い。地域の人口が減っています。地域に根差しているという意味で、本校の地域未来探究科は魅力的です。人間性を高め、世の中でかわいがられる人間に成長するような教育を期待します。

●インターンシップも実施していますが、生徒さんが学ぶには機会としてはかなり限られている気がします。もうちょっと積極的に、高校生の就職指導を行いたいと考えています。

●今の生徒は、卒業すれば何でも契約等でできてしまうの世の中の危険性も教えてほしい。

●錦中の生徒は、中央高に注目しています。

●球磨中央百貨店で高校生が生き生きと販売しています。その姿に、元気をもらえます。

●球磨中央高1年生が気持ちよく挨拶をしてくれます。このような学校の雰囲気大事だと思います。

●PTA関係のイベントが多いのが魅力的です。保護者が手伝う機会が多いので、中央高校らしい活動が続けて、保護者との連携を深めていってほしいです。

## 5 総合評価

●3年間にわたり貴校の学校運営協議会委員を務めさせていただいたが、訪問するたびに生徒さんから元気の良い挨拶をもらって大変良い気分させていただいたし、校内の明るい雰囲気にもつながっていると思います。

●生徒さんに対するブラインドの実践的避難訓練を実施したとのことですが、今後もマンネリ化することなく創意工夫を重ねながら様々な防災教育に取り組んでいただきたいと思います。経験則として、成人してからよりも子供時代に当たり前として身に付けたものがいざというときに役立つ、反射的に動けるものと考えています。

●地域に根ざした特色ある学校教育。本当にありがとうございます。

●生徒数が減少していく中。これからの教育課程の一層の充実を心より御祈念申し上げます。今後も中高連携の更なるバージョンアップをどうぞ宜しくお願いします。

●自己評価統者表＞学校経営＞豪雨災害からの復旧、復興活動の推進については「B→A」でいいのではないかと思います。地元企業のPRにつながり、錦町のふるさと納税の返礼品に採用されたためです。12月4日の取り組み発表も大変素晴らしかったです。

## 6 次年度への課題・改善方策

●プライベートであれ仕事であれ、相手とコミュニケーションを取る第一歩が声かけであり、やれば誰でもできるのが挨拶だと思います。今後も挨拶を当たり前にできる指導を続けていただきたいと思います。

●2025年度から県内県立高校では自転車のヘルメット着用が義務化されると聞き及んでいますが、生徒さんに対するヘルメット着用の指導だけではなく、根本的に自転車は“車両”であり、人身交通事故では被害者だけでなく加害者にもなり得ることを十分指導していただくことが必要だと思います。昨年12月には東京都内で女子高校生が自転車で歩行者をはねて死亡させる事故も起きており、万が一重大事故を起こしてしまえばその後の生徒さんの人生に大きな影響を与えてしまうことになります。生徒さん達が身につまされるような指導を継続して行っていただきたいと思います。

●地域の防災機関として、お力になれるところがありましたら、何なりとご用命いただければと思います。

●全国的に人手根が深刻な状況となっています。一人でも多く地元企業に入社していただけるような指導をお願いします。

●学校評価アンケートでいじめの根絶を目指した指導に不満を抱いている様子が見えられますので、いじめ根絶の100%達成をお願いします。

●今からの若者は、先送りした多くは宿題と向き合わなくてはならないと思います。環境、災害、過疎化と一局集中、医療と社会保障、ジェンダー格差、少子高齢化、奨学金、年金、紛争、防衛等、枚挙のいとまがありません。

●多くの人と話し、より良い解決法を導く為には、コミュニケーション能力の向上を図る必要があると思います。

●外部の専門家を招き、知識を得る事も考えられます。池上彰さんのようにわかりやすいのがベストですが…。ファクトチェックのないインターネットの情報のみでなく、新聞、テレビ、ラジオも併用し、アンテナの意見も考慮した考えを持てるようになるとうよいと思います。それには。ディスカッション、ディベート、ブレインストーミング、アサーティブコミュニケーション、プレゼンテーション等、いろんな手法での訓練が必要かとも思います。話すことが不得手な私見でした。

●先生方の学校運営に取り組まれている内容、学校評価表、各保護者に周知していただくのは、もちろんの事、先生方がこれだけ取り組まれておられる事も是非、保護者の方々との共有をしていただければと思います。